

第68回日本婦人科腫瘍学会学術講演会
プログラム予定

【1日目】2026年7月17日(金)

■社員総会・名誉功労会員表彰式、新理事会（8:10-9:40）

■シンポジウム1（10:00-12:00）

「ここまで来た！婦人科腫瘍研究のいま part1～基礎から臨床導入が待たれる研究まで～」

座長 上田 豊（和歌山県立医科大学医学部 先進予防・健康医学講座）

関根 正幸（琉球大学 産婦人科）

AIとXRを活用した婦人科がん手術ナビゲーションシステムの開発

谷口 智紀（国立がん研究センター研究所 医療AI研究開発分野）

MPA抵抗性子宮体癌細胞に対するフェロトーシス誘導剤の有効性

村上 暉（大阪医科薬科大学）

婦人科腫瘍手術におけるAIナビゲーション研究の最前線 モデル開発から臨床実装へのトランスレーション

竹中 慎（昭和医科大学）

Notch依存性腫瘍内不均一性による卵巢癌腹膜播種制御機構

宮本 絵美里（名古屋大学）

非侵襲的MRIバイオマーカーを用いた子宮頸癌の根治放射線治療線量の推定

白石 悠（慶應義塾大学 放射線科学教室(治療)）

卵巢癌・播種巣検出のためのアミノレブリン酸塩酸塩を用いた光線力学診断の有効性と安全性の検討

田畑 務（東京女子医科大学）

■ワークショップ1（10:00-11:40）

「センチネルリンパ節、保険収載後の将来性」

座長 小林 裕明（宗像水光会総合病院）

万代 昌紀（京都大学大学院医学研究科）

センチネルリンパ節生検時の注意点・実際の使用経験について

梅村 康太（豊橋市民病院）

子宮頸がんセンチネル生検の実際

矢幡 秀昭（九州大学）

特定臨床研究下で導入した子宮体癌に対するセンチネルナビゲーション

小松 宏彰（鳥取大学）

インドシアニンググリーン蛍光法による子宮悪性腫瘍センチネルリンパ節生検の取り組み

上田 和（国際医療福祉大学三田病院）

子宮頸・体癌センチネルリンパ節生検の保険収載に向けてのこれまでの歩み

戸上 真一（鹿児島大学）

子宮体癌におけるセンチネルリンパ節生検の安全な導入－標準化へ向けた課題と工夫

吉野 育典（がん・感染症センター都立駒込病院）

■International Workshop（10:00-11:00）

“Frontiers of Robotic Surgery in Asia: Evolution and Perspectives”

■野澤記念受賞講演（11:00-12:00）

■ランチョンセミナー（12:15-13:15）*企業共催

■特別講演（13:30-14:30）

座長 片瀧 秀隆（くまもと森都総合病院）
抗 TROP2 抗体による ADC 創薬の展開:未来に向けた戦略
濱田 洋文（札幌医科大学 研究連携推進機構 免疫医薬開発講座）

■ディスカッション1（14:30-15:50）

「初回手術における Escalation と Deescalation、どちらに向かっていくのか」

座長 寺井 義人（神戸大学）
佐藤 豊実（筑波大学）

金尾 祐之（がん研究会有明病院）
加藤 一喜（北里大学）
田部 宏（国立がん研究センター東病院）
古澤 啓子（静岡県立静岡がんセンター）

■日本腫瘍循環器学会合同企画（14:30-15:30）

座長 田畑 務（東京女子医科大学病院）
婦人科腫瘍学と腫瘍循環器学の連携
向井 幹夫（公益財団法人大阪府保健医療財団 大阪がん循環器病予防センター）

■シンポジウム2（14:40-16:40）

「卵巣癌に対する MIS の将来性」

座長 小林 栄仁（大分大学）
馬場 長（岩手医科大学）

卵巣癌低侵襲手術の課題と将来
小玉 美智子（大阪大学）
卵巣癌に対する腹腔鏡下手術の現状と課題
林 茂徳（東邦大学医療センター大橋病院）
当院における卵巣癌に対する MIS の適応とその実際
高橋 伸卓（静岡県立静岡がんセンター）
先進医療「腹腔鏡下卵巣癌・卵管癌・腹膜癌根治術」の導入経験と今後の展望
西田 正和（大分大学）
Lap-PAND における左 b1 郭清の膜解剖学的工夫 ～腎筋膜前葉を基軸とした安全・高精度郭清の実践～
棚瀬 康仁（兵庫県立がんセンター）
I 期上皮性卵巣癌の AYA 世代患者に対する腹腔鏡下妊孕性温存手術の腫瘍学的安全性について
久慈 志保（聖マリアンナ医科大学）

■コルポスコピー小委員会合同企画（15:40-17:10）

座長 藤井 多久磨（公益財団法人東京都予防医学協会）
長阪 一憲（帝京大学）

【企画①】オープニング&コルポスコピーの教育について

コーディネーター&コメンテーター 藤井 多久磨（公益財団法人東京都予防医学協会）
田中 良道（大阪医科薬科大学 婦人科腫瘍科）

【企画②】コルポスコピー検査の実践について・症例提示

コーディネーター 長阪 一憲（帝京大学）
症例提示 真里谷 奨（札幌医科大学）
コルポスコピー所見コメンテーター 久留米大学病院 トレーニー
病理所見コメンテーター 川上 史（琉球大学大学院 医学研究科 細胞病理学講座）

【企画③】CIN の治療介入とフォローアップ

コーディネーター 利部 正裕（岩手医科大学）
コルポスコピー小委員会企画 CIN の治療介入とフォローアップ
平良 祐介（琉球大学病院）

【2026年3月末時点】

CIN 治療・軽快後、いつ検診に戻すべきか？—フォローアップ終了の適切なタイミング

水島 大一（横浜市立大学）

■スポンサーセミナー(15:40-16:40) *企業共催

■ディスカッション2 (16:00-17:20)

「再発時に手術と薬物療法をどう使い分けていくのか」

座長 三上 幹男（湘南医療大学・茅ヶ崎中央病院）

永瀬 智（山形大学）

伏木 淳（がん研究会有明病院）

宮本 雄一郎（埼玉県立がんセンター）

西川 忠暁（東京慈恵会医科大学）

三田村 卓（北海道大学）

■ASGO-JSGO joint session (16:10-17:30)

■高得点演題(午前・午後)、一般口演(午前・午後)

■一般ポスター(17:40-18:40)

【2日目】2026年7月18日(土)

■ワークショップ2 (08:50-09:50)

「妊孕性温存治療の今」

座長 鈴木 直 (聖マリアンナ医科大学)
山上 亘 (慶應義塾大学)

妊孕性温存治療としての卵巣組織凍結

金田 倫子 (三重大学医学部附属病院)

若年子宮体癌の妊孕性温存療法の現状と課題 新たな予後予測モデルの開発にむけて

坂井 健良 (慶應義塾大学)

早期子宮頸癌に対する腔式子宮頸部摘出術の検討

幅田 周太郎 (札幌医科大学)

当院における早期子宮頸癌に対する腫瘍散布予防を用いた腹腔鏡下広汎子宮頸部摘出術の検討

小澤 梨紗子 (がん研有明病院)

■tumor board (09:00-10:30)

■緊急セッション (09:20-09:50)

「カルボプラチン腹腔内投与の臨床実装に向けて」

■シンポジウム3 (10:00-12:00)

「臨床試験の読み解き方」

座長 渡利 英道 (北海道大学)
島田 宗昭 (東北大学)

臨床試験の読み解き方 -卵巣癌治療におけるパラダイムシフトと今後の方向性-

矢内原 臨 (東京慈恵会医科大学)

最新の治験を網羅する～今後薬物治療を俯瞰する～

西尾 真 (久留米大学)

臨床試験の解釈 - 臨床試験を「読む」ために、臨床試験を「作る」視点から考える

武隈 宗孝 (静岡県立静岡がんセンター)

臨床試験を正しく読み解くためのアウトカム／ヘルスサービス研究

鈴木 幸雄 (岐阜大学医学部附属病院)

リアルワールドにどう持ち込む? — 婦人科がん免疫療法試験の結果解釈と患者ごとの治療選択

利部 正裕 (岩手医科大学)

■医療安全講習会 (10:00-11:00)

座長 川名 敬 (日本大学)

終末期医療における医療安全:患者の意思が尊重された DNAR 指示

橋本 暁佳 (札幌医科大学 医学部 医療安全・病院管理学講座)

■子宮鏡研究会合同企画 (10:50-11:50)

「子宮鏡の基礎から悪性腫瘍に関連する子宮鏡まで」

■日本サルコーマ治療研究学会合同企画 (11:00-12:00)

「子宮肉腫の治療戦略」

■スポンサーセミナー (11:00-12:00) *企業共催

■ランチョンセミナー（12:15-13:15）*企業共催

■シンポジウム4（13:30-15:30）

「ここまできた！婦人科腫瘍研究のいま part2～基礎から臨床導入が待たれる研究まで～」

座長 吉原 弘祐（新潟大学）

馬淵 誠士（兵庫医科大学）

卵巣癌がもたらす脂肪酸代謝改変に着目した新規治療戦略開発の試み

山ノ井 康二（京都大学）

難治性卵巣癌に対する多角的アプローチ ～分子標的薬の臨床導入と AI 融合解析による新規創薬基盤の構築～

四元 房典（福岡大学）

リキッドバイオプシーとオルガノイドを用いた次世代婦人科がん精密医療への展開

千代田 達幸（慶應義塾大学）

婦人科腫瘍手術 AI ナビゲーション研究の最前線 — モデル開発から臨床実装へのトランスレーション —

竹中 慎（昭和医科大学）

HRP をバイオマーカーとする高異型度漿液性卵巣癌の治療法開発～PLK1 阻害剤、WEE1 阻害剤～

織田 克利（東京大学 統合ゲノム学）

組織因子高発現卵巣明細胞癌の分子特性と tisotumab vedotin の前臨床効果

田村 亮（新潟大学）

精密病理と空間オミクスの統合による胃型子宮頸部腺癌早期侵襲機構の解明と臨床応用への展望

太田 啓明（川崎医科大学）

■スポンサードセミナー（13:30-14:30）*企業共催

■ディスカッション3（13:30-15:00）

「子宮頸部腺癌での放射線か広汎の治療選択」

座長 大野 達也（群馬大学 放射線治療科）

横山 良仁（弘前大学大学院）

関山 健太郎（近畿大学奈良病院）

近澤 研郎（自治医科大学附属さいたま医療センター）

安藤 謙（群馬大学医学部附属病院 放射線治療科）

染谷 正則（札幌医科大学医学部 放射線治療科）

■病理セッション（13:30-14:30）

「婦人科腫瘍の最適な治療のための免疫組織化学—婦人科医に知ってもらいたいこと」

座長 三上 芳喜（熊本大学病院 病理診断科）

渡邊 麗子（札幌医科大学医学部病理診断学講座）

子宮頸部病変の免疫組織化学

川上 史（琉球大学大学院 医学研究科 細胞病理学講座）

卵巣・卵管・腹膜腫瘍の診断と治療に必要な免疫組織化学

柳井 広之（岡山大学病院 病理診断科）

子宮体癌診療における免疫組織化学の実践的意義 — MMR・p53 から組織型鑑別まで

外岡 暁子（公益財団法人がん研究会 がん研究所 病理部）

■JGO セッション（14:40-15:40）

■スポンサードセミナー（14:40-15:40）*企業共催

■ワークショップ3 (15:30-17:20)

「合併症対策 ～尿管・腸管・血管損傷を中心に～」

座長 近藤 英司 (三重大学大学院)
竹原 和宏 (四国がんセンター)

消化器外科の視点からみた婦人科手術における腸管損傷対策

上原 圭 (日本医科大学 消化器外科)

尿路損傷に対する予防と対応—チームで学ぶ修復術と尿路管理—

三木 淳 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 泌尿器科)

婦人科悪性腫瘍手術における他臓器損傷と重篤な合併症の検討

野村 秀高 (がん研有明病院)

腹部骨盤手術時の血管合併症とその対処法

伊庭 裕 (札幌医科大学 心臓血管外科)

卵巣癌直腸合併切除における合併症予防戦略:縫合不全とカバリングストーマ

瀧川 若 (国立がん研究センター中央病院)

卵巣癌腫瘍減量手術における直腸切除時の回腸ストーマ造設—判断因子の検討—

尾身 牧子 (がん研有明病院)

準広汎子宮全摘術での排尿障害について(MIS と開腹手術の比較)

西川 恭平 (がん研有明病院)

■感染対策講習会 (15:55-16:55)

座長 増山 寿 (岡山大学)

がん治療中に重要なワクチン接種

黒沼 幸治 (札幌医科大学医学部 感染学講座感染症学分野)

■日本産科婦人科学会合同企画 (16:00-17:30)

「婦人科がんにおける Precision Medicine、遺伝性腫瘍診療に関する Overview」

座長 渡利 英道 (北海道大学)

織田 克利 (東京大学 医学部 統合ゲノム学)

婦人科がんにおけるバイオマーカー検査の手引き:臨床実装の要点

朝野 拓史 (北海道大学)

リスク低減卵管卵巣摘出術検体で STIC が見つかったらどうしますか?

小林 佑介 (筑波大学)

Lynch 症候群診断は婦人科診療をどう変えるか:治療方針への影響と臨床的有用性

増田 健太 (慶應義塾大学)

がん遺伝子パネル検査の実態調査

須藤 保 (藤田医科大学 医学部 先端ゲノム医療科)

■市民公開講座 (17:30-18:30)

「市民公開講座婦人科領域における漢方の活用」

司会 寺本 瑞絵 (NTT 東日本札幌病院)

演者 春日 芙貴子 (製鉄記念室蘭病院)

磯山 響子 (札幌医科大学)

共催:株式会社ツムラ

■International Session(Oral) (午前のみ)

■高得点演題(午前・午後)、一般口演(午前・午後)

■一般ポスター(17:30-18:30)

■情報交換会(19:00-) 予定

【3日目】2026年7月19日(日)

■JESGO セッション (09:00-10:00)

座長 山上 亘 (慶應義塾大学)
玉内 学志 (名古屋大学)

JESGO データ二次利用による臨床研究の展開:センチネルリンパ節生検手術において

坂井 健良 (慶應義塾大学)

市中病院における婦人科悪性腫瘍総合入カシステム(JESGO)導入とタスクシフトの実践

森川 恵司 (広島市立広島市民病院)

多施設共同研究への JESGO 導入

宮本 絵美里 (名古屋大学)

■日本婦人科腫瘍学会若手ワーキンググループ (09:00-10:00)

「Winter gathering」

座長 関根 花栄 (順天堂大学)

川村 温子 (静岡県立静岡がんセンター)

若手婦人科腫瘍医のキャリア形成を支える Early Career Support Network 構築に向けて

竹田 貴 (慶應義塾大学)

現行の専門医取得の要件と求められる医師像に乖離はあるのか?

平山 貴裕 (滋賀県立総合病院)

生成 AI 時代における腫瘍医としての本質的な業務と臨床・教育への提言～我々の Human-in-the-Loop モデル～

石田 憲太郎 (京都大学)

GYNPATH Gynecology + Pathology ～婦人科腫瘍と病理のパス(道・連携)～

城戸 完介 (大阪大学大学院医学系研究科 病態病理学)

婦人科腫瘍医が燃え尽きないために～サステナブル施設認定制度と全国ダッシュボード構想～

青山 幸平 (京都第一赤十字病院)

■ワークショップ 4 (09:00-10:30)

「CIN 管理の最新動向ー治療か経過観察か?」

座長 藤原 寛行 (自治医科大学)

宮城 悦子 (横浜市立大学)

HPV ワクチンによる子宮頸癌の発症予防と再発予防

水島 大一 (横浜市立大学)

CIN2 の管理・転帰に関する real-world data ～多施設共同観察研究～

高橋 詳史 (自治医科大学)

CIN の管理を再考する

神下 優 (佐賀大学)

当院で経験した子宮頸部上皮内腫瘍(CIN)2 および 3 に対して治療した症例の経過について

永吉 陽子 (国際医療福祉大学三田病院)

HLA クラス I 異常に基づく CIN 進展リスクの層別化

良元 大介 (東京大学)

CIN2-3 に対するレーザー蒸散術の治療成績と妊孕性温存効果:円錐切除との比較、HPV 陰性化率の検討

仲澤 美善 (NTT 東日本札幌病院)

■病理症例検討会 (09:00-12:00)

■Young Doctor Session (09:00-10:35)

■日本婦人科腫瘍学会手術手技研修委員会 ハンズオンセミナー（09:00-12:00）

■シンポジウム5（10:10-11:50）

「複合がん免疫療法の最前線」

座長 京 哲（ポネレクリニック大阪）

松村 謙臣（近畿大学）

複合がん免疫療法の最前線～免疫関連有害事象の管理のpit fall-特に皮膚障害～

温泉川 真由（がん研究会有明病院）

婦人科悪性腫瘍における免疫チェックポイント阻害薬再投与と併用戦略

原野 謙一（国立がん研究センター東病院 腫瘍内科）

複合免疫療法の課題と展望

濱西 潤三（国立病院機構京都医療センター）

婦人科がんにおける複合免疫療法の開発戦略

須藤 一起（国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科）

婦人科がん免疫療法が奏効するメカニズムとバイオマーカーの探索

村上 幸祐（近畿大学）

■日本 IVR 学会合同企画（10:30-12:00）

「婦人科腫瘍と IVR」

座長 梶山 広明（名古屋大学）

曾根 美雪（国立がん研究センター中央病院 放射線診断科）

コメンテーター 澤田 健二郎（愛媛大学）

小野澤 志郎（杏林大学医学部附属病院放射線科）

婦人科腫瘍に対する IVR:何が出来る？

佐藤 洋造（がん研有明病院 超音波診断・IVR 部）

がん疼痛に対する緩和 IVR

西尾福 英之（奈良県立医科大学 放射線診断・IVR 学講座、緩和ケアセンター）

婦人科領域のリンパ系トラブルに IVR が出来ること

荒井 保典（国立がん研究センター東病院 放射線診断科）

婦人科領域の IVR:現状と今後

馬淵 誠士（兵庫医科大学）

■専門医制度委員会企画（10:35-12:05）

「婦人科腫瘍専門医制度の再設計に向けた現状分析と課題 ―会員アンケート結果からの考察―」

座長 川名 敬（日本大学）

小玉 美智子（大阪大学）

婦人科腫瘍専門医制度について

川名 敬（日本大学）

婦人科腫瘍専門医と修練医の現状

黒田 浩（立川相互病院）

第2回 Winter Gathering における若手医師からの視点(ポイ活制度)

川村 温子（静岡県立静岡がんセンター）

会員アンケート結果

伏木 淳（がん研有明病院）

■ランチョンセミナー（12:15-13:15）*企業共催

■会長講演（13:30-14:10）

座長 鈴木 直（聖マリアンナ医科大学）

腔式アプローチによる子宮頸癌治療と産科的予後

齋藤 豪（札幌医科大学）

【2026年3月末時点】

■指導医講習会（14:20-15:20）

少子化時代の産婦人科の未来予報～働き方とサステイナブル医療～

座長 渡部 洋（東北医科薬科大学）

加藤 育民（旭川医科大学）

■一般口演(午前のみ)

■閉会式(15:20-)

オンデマンド配信のみ

■教育プログラム C

トピックス

婦人科における遺伝性腫瘍症候群診療～HBOC、リンチ症候群から MGPT まで～

平沢 晃（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科）

C-1 患者教育

Co-creation ～ともに創るがん研究～

桜井 なおみ（一般社団法人CSRプロジェクト）

C-2 生命倫理・法的規制、経済的側面

がん治療における生命倫理・法的規制、経済的側面のトピック

鈴木 幸雄（岐阜大学医学部附属病院）

C-3 子宮頸がん・膣がん・外陰がんの薬物療法

子宮頸がん・膣がん・外陰がんの薬物療法

温泉川 真由（がん研究会有明病院）

C-4 子宮体がんの予防・診断

子宮体がんの予防・診断

藤原 聡枝（大阪医科薬科大学）

C-5 卵巣がん・卵管がん・腹膜がんの手術

卵巣がん・卵管がん・腹膜がんの手術

添田 周（福島県立医科大学）

C-6 卵巣の境界悪性腫瘍・胚細胞腫瘍・性索間質性腫瘍の診断・治療

卵巣の境界悪性腫瘍の診断と治療

安彦 郁（金沢大学）